

# 学級通信 カラフル

## ～避難訓練～

6月20日(金)に避難訓練を実施しました。その事前学習として、知らない街で震災に遭遇する疑似体験ゲーム「ダイレクトロード」に取り組みました。このゲームは架空のものですが、状況設定は、過去の大震災での実話をベースにしています。

それは、ある小学校で起こりました。その小学校がある地区には大きな川が流れ、標高は低いものの海から4キロ近く離れており、地元の人達には海に近いという感覚はありませんでした。また、大震災の1年前にも大津波警報が出たことがありました。その時は何事もなく、その経験が判断を鈍らせました。大震災の日、2階建ての建物で上れる屋上が無かった小学校では、子どもたちを校庭に集めていました。すぐ隣にある裏山は数年前に土砂崩れがあり、余震が続く中で子どもたちを登らせるのは、ためらわれました。「思い込み」や「過去の経験」や「地理的な状況」が全て裏目に出てしまい、堂々巡りのやりとりの末、リスクはあっても結果的にその場所しかなかった裏山ではなく、小学校よりも数メートル高いという、川の近くの場所を目指して移動していたところを津波に巻き込まれ、ほとんどの子どもたちが命を落としました。地震発生からおよそ50分後のことでした。

このゲームで5つある避難先の候補地から正しい避難先を選択できた生徒は0人でした。これは決して子どもたちの考える力が及ばなかったことが原因ではありません。

「限られた時間」、「情報の錯綜」、「人命救助」など…。このような状況の中で正しい判断を下すことがいかに難しいことを痛感できました。活動の振り返りを経て、悲劇を繰り返さないという強い思いで避難訓練に取り組めたと思います。

「災害時に迷いなく行動するためには、個人や、あるいは組織で、予めどのように行動するかを決めておくことが有効」だと言われています。ご家庭でも、話題にしていただけたら幸いです。裏面は活動の様子を載せています。

## お知らせ

### ① 授業について

6月23日(月)から1学期末まで原則5時間授業となります。

### ② 柳田中との交流について

7月より石川県の柳田中との交流がスタートします。アート作品を共同で制作し、能登の文化祭に出品する予定です。7月2日(水)に、オンラインで柳田中の3年生と交流します。

### ③ 福祉体験

7月8日(火)に社会福祉協議会の方をお招きして、福祉体験を実施します。内容は「認知症サポーター養成講座」と「高齢者疑似体験・車いす体験」です。学習を通して、認知症や身体的機能低下について理解し、「ともに生きる力」を育みたいと考えています。



① 救助が必要な人を探し、救助するかどうかを判断する。

※救助できた場合、1人につき1つ情報を得ることができる。

地震発生

② 救助をすると判断したものについて、

「救助に必要なもの」や「救命道具等の使用方法」などについて情報カードをもとに整理する。

③ 大津波警報発令。救助が途中の場合は切り上げる。

大津波警報 発令

④ 避難先を地図や情報カードをもとに考える。5か所の避難先候補の安心材料と懸念

点を整理する。 ○まずはグループで避難先を考える。 ○最後は自分で選ぶ。



⑤ 自分が選んだ避難先へ移動し、解答を確認。

全員間違っていたため、茫然…。ゲームでよかったというような表情です。

今回の状況設定が実際に学校であった話だったということでこの結果について私自身、危機感をもちました。

教員として、個人として有事の際の心構えを今一度確認せねば。生徒の皆さんも我が身や家族を守るために、これからもいっしょに考えていきましょう。